

「ほっとルーム」だより



第101号 平成29年1月10日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議
(教育委員会 社会教育課内Tel 21-5130)

明けまして おめでとうございます。

新しい年、平成29年がスタートしました。今年は酉年。子どもさんや皆様にとって健康で鳥のように飛躍する年になるようお祈りいたします。家庭教育や子育てについても、保護者の皆様のお力になれるよう努めて参りますので、よろしくお祈りいたします。



串木野小・照島小・生福保育所で 「おあしす」を開設しました。



11月29日(火)に生福保育所、12月1日(木)に串木野小学校、12月2日(金)に照島小学校で、「ほっとルーム」の出前サロン「おあしす」を開設しました。生福保育所は、初めての開設でしたが、子どもさんをお迎えのお母さん方が立ち寄って下さいました。串木野小学校、照島小学校では、本年度最後の「おあしす」でしたが、お茶を飲みながら子育ての悩みや子どもの頑張りなどをお聞きし語りあいました。



生福保育所「おあしす」



串木野小学校「おあしす」



照島小学校「おあしす」

子育てアドバイス

人に愛されたことがなければ
人を愛することはできません
人を愛する心の力は
愛を感じる経験によって
育まれるものです

広木 克行著「子どもは紫の露草」より

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内
TEL:21-5130 FAX:36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

集いの場は子育て情報交換の場にも！

「新聞をつかい賢く生きる」

～荒川小学校家庭教育学級～

荒川小学校家庭教育学級「はたる学級」は、11月2日（水）、南日本新聞社読者センター渡辺洋子先生を講師にお招きし、「新聞を使い、賢く生きる」をテーマに御講話をいただきました。「生きる力」すなわち「思考力・判断力・表現力が育つこと」の大切さや、新聞の特性、新聞を読んで身につく事等、具体的に新聞を手にとりながら学習でき、有意義な家庭教育学級になりました。



学級生の声 ⇒ これからは、親子で、新聞を見るようにしたいと思います。とても勉強になりました。

「家庭での体力作り」について学びました

～市来小学校家庭教育学級～

市来小学校家庭教育学級「さざなみ学級」は、11月19日（土）、エアロビック指導員の小島美幸先生を講師にお招きし、「子どもの体力の実態や家庭での体力づくり」について学びました。

現代の便利な世の中で使わなくなりつつある筋肉を使った運動を意識して行いました。

かかとをつけたまま立ったり座ったり、前屈し膝を曲げないで床に手をついたり。手を腰におき片足立ち、背中合あわせで座ったり立ったり。楽しい中にも筋肉が鍛えられた一時でした。



学級生の声 ⇒ どこを鍛えているか考えて体操するのは、とても楽しい。そして、必要だと思います。

第3回目の1年生長子の家庭訪問をはじめます。

4月から訪問を始めた1年生長子家庭訪問は、9月からの2回目が終わり、1月から3回目の家庭訪問をいたします。

お会い出来たご家庭では、子どもさんの成長の様子をお聞きできたり気になる事などを語りあえました。

お留守のご家庭からも、返信用の封筒で、訪問希望があったり、「いまは悩みがないですが、守ってもらっている気がします」などのお便りつきのアンケートをいただきました。

今後も、玄関先での家庭訪問をさせて貰いますが、お仕事などでお留守でも気にされないでください。1年生に限らず、どの学年でも訪問の希望日等がありましたらお受けいたします。また、電話相談もお受けしています。(社会教育課内「ほっとルーム」:TEL 21-5130)